

1. 地域貢献事業研究 課題一覧

当センターでは、本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する事業研究を対象として『地域貢献事業研究費』を配分しています。2014 年度は計 8 件（区分 A:3 件、区分 B:5 件）、計 2,500,533 円の申請があり、保健福祉実践開発研究センターにおいて審議し、部長会の議決を経て執行役員会に報告し承認を得て、6 件、計 1,299,337 円の事業研究費を配分しました。研究課題 6 件の報告書を当年報（P.37 ～）に掲載しておりますので、併せてご覧ください。

（区分）

A：本学周辺地域の保健医療福祉の向上を目的とし、地域の保健医療福祉の実践現場と共同で行う研究

B：本学周辺地域の保健医療福祉の向上を目的とし、地域との基盤作りとしての事業に関する共同研究

所属※	研究代表者	職位	区分	研究課題	対象地域	配分額(円)
社福	福田俊子	准教授	A	実習プログラムとスーパービジョンの有機的な連携のあり方	富士市 及び浜松市	130,958
介護	横尾恵美子	教授	A	浜松市における成年後見制度利用状況と市民後見人養成のニーズについて	浜松市	222,649
リハ PT	吉本好延	准教授	A	官学連携による高齢者の介護予防事業の実践	浜松市	234,324
リハ PT	金原一宏	助教	B	地域在住者を支えるリハビリサポート体制の構築	浜松市 北区、中区	278,516
リハ OT	田島明子	准教授	B	「浜松市で障害に対する差別をなくす条例づくり」の検討	浜松市	319,248
リハ OT	伊藤信寿	准教授	B	発達障害児への余暇支援と保護者への子育て支援の取り組み	浜松市	113,642
合計						1,299,337

※社福＝社会福祉学部社会福祉学科、介護＝社会福祉学部介護福祉学科、
リハ＝リハビリテーション学部、PT＝理学療法学科、OT＝作業療法学科

<地域貢献事業研究 報告会>

2013 年度に地域貢献事業研究費の配分を受け実施された事業研究の報告会を下記日程で開催しました。

日時：2014 年 11 月 1 日（土）10：00 ～ 15：00 ※聖灯祭・ホームカミングデーと同日開催

場所：聖隷クリストファー大学 1 号館 4 階 1409 中教室

発表：ポスター発表および口頭発表 来場者数：186 名

地域貢献事業研究費 2014 年度募集要項

保健福祉実践開発研究センター「地域貢献事業研究費」について、下記の要領で研究計画を募集します。

1. 基本方針

保健福祉実践開発研究センターの柱のひとつである「保健医療福祉分野に係るすべての人たちとの共同研究・事業」を推進し、共同で課題解決を図るために、本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する研究を対象とした事業研究費を募集します。

2. 対象となる研究および事業研究費の金額

本学周辺地域の保健医療福祉の向上を目的とし、

A：地域の保健医療福祉の実践現場と共同で行う研究

B：地域との基盤作りとしての事業に関する共同研究

- ・実習先・就職先施設等と連携した研究であればなお望ましい。
- ・研究費の配分総額は130万円、**1件当たり最大40万円です**（共同研究費とは上限額が異なります）。なお、地域貢献事業研究費の総額は、並行して募集する共同研究費の申請状況も考慮し、大学全体の研究費予算の枠内で柔軟に対応していきます。
（配分総額は、2014年度予算決定をもって確定しますので、変わる可能性があります）
- ・配分対象の経費および単価基準は、「共同研究費取り扱い要領」の「7. 申請できる経費」に準じますのでご確認ください。要領と異なる取り扱いを希望する場合は、その理由と算出根拠を記載してください。
- ・配分された研究費の執行は、部長会で配分案が決定し、配分結果を通知した後からとなります。通知前の執行は認められませんのでご注意ください。
- ・限られた予算を有効に配分するため、既に研究室に備えられているパソコン、プリンター、総務部で貸出をしているデジカメ、ビデオカメラ、ICレコーダー等の申請はできるだけご遠慮ください。特別な事情により申請をする場合は、計画書に申請理由を添付してください。

3. 対象期間

2014年4月1日～2015年3月31日

4. 研究成果の提出

- ・研究代表者は、研究期間内における研究課題の成果を取りまとめ、研究成果報告書を2015年6月末日までに保健福祉実践開発研究センターに提出してください。
- ・研究代表者は、保健福祉実践開発研究センターが企画する報告会等で発表する義務を負います。

5. 審査の方法

保健福祉実践開発研究センターは、配分案を検討するにあたり、申請された計画書に対して以下の項目を目安にして審査をします（A・Bそれぞれ15点満点。絶対評価）。

項目	A	B
(1- A) 本学周辺地域の保健医療福祉の向上にどのように貢献できるか <5点満点>	○	—
(1- B) 本件が地域との基盤作り等である場合の将来展望 <5点満点>	—	○
(2) 研究計画・方法の妥当性 <5点満点>	○	○
(3) 申請経費の妥当性 <5点満点>	○	○